



和
諸職繪法
一
師宣画

3778



門 子 5
3778
巻

新子徳藏法流

并あり

玉皇又序



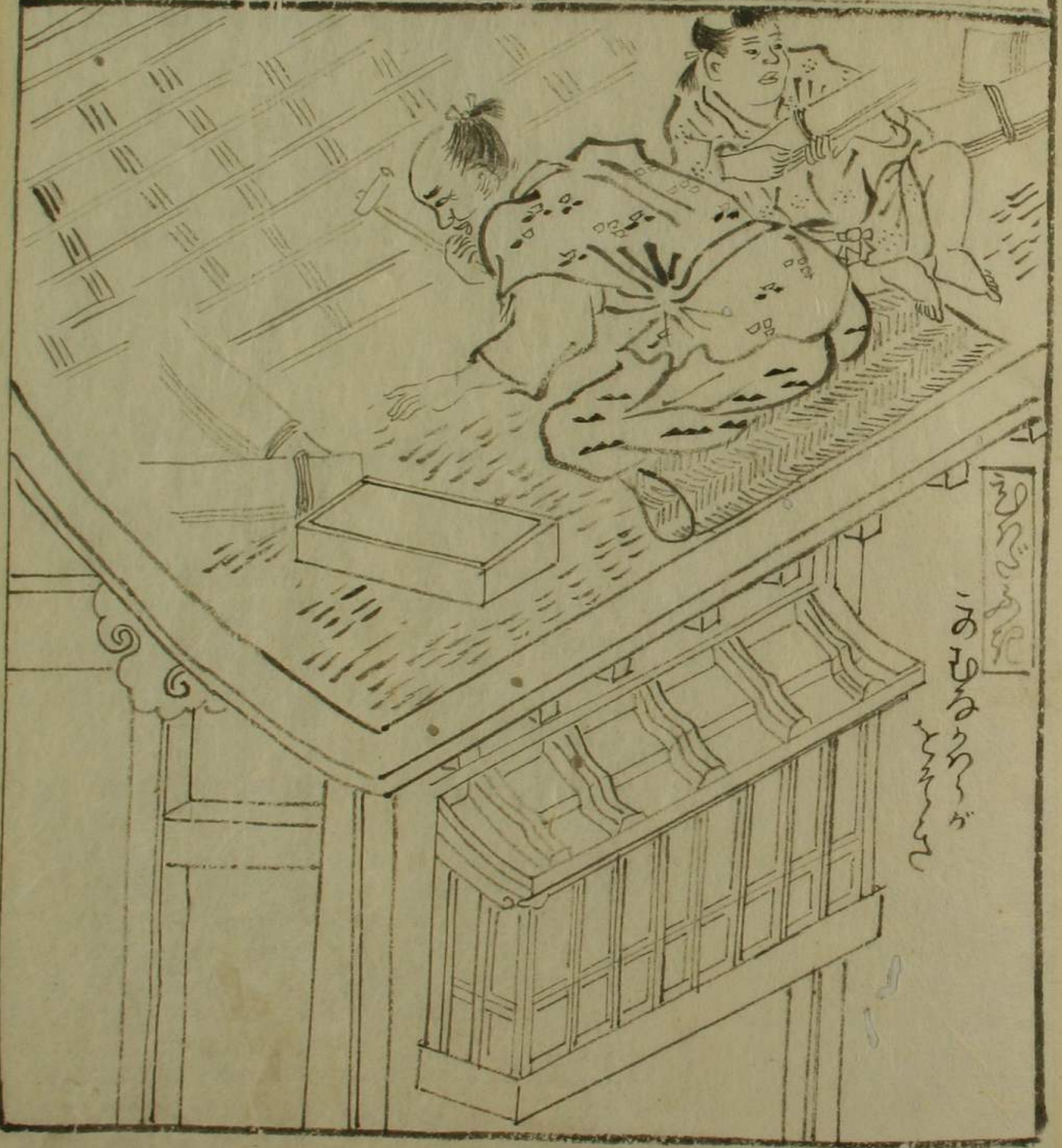
あやうしらむきとせさうかものさまふりまらより遊
成玉わとらげをそよゆりれ及成をありありあ
とやゆとらげと吾邦のありとぶらりまれば新の
道にまふい人の心と新をい合殿乃光あれんま
あうりあうきひりあり心とのまら阿母りそのたさ
りとりてそのたあところちと方成合竹けり種と
月と恋とゆして危儀あり判きりゆけりしと身と
けりあや

早二番歌合之類

月 恋



秋の月夜
 月影の光を
 照らす
 衣の影を
 映す
 静かな
 夜
 月影の
 光を
 照らす
 衣の影を
 映す
 静かな
 夜



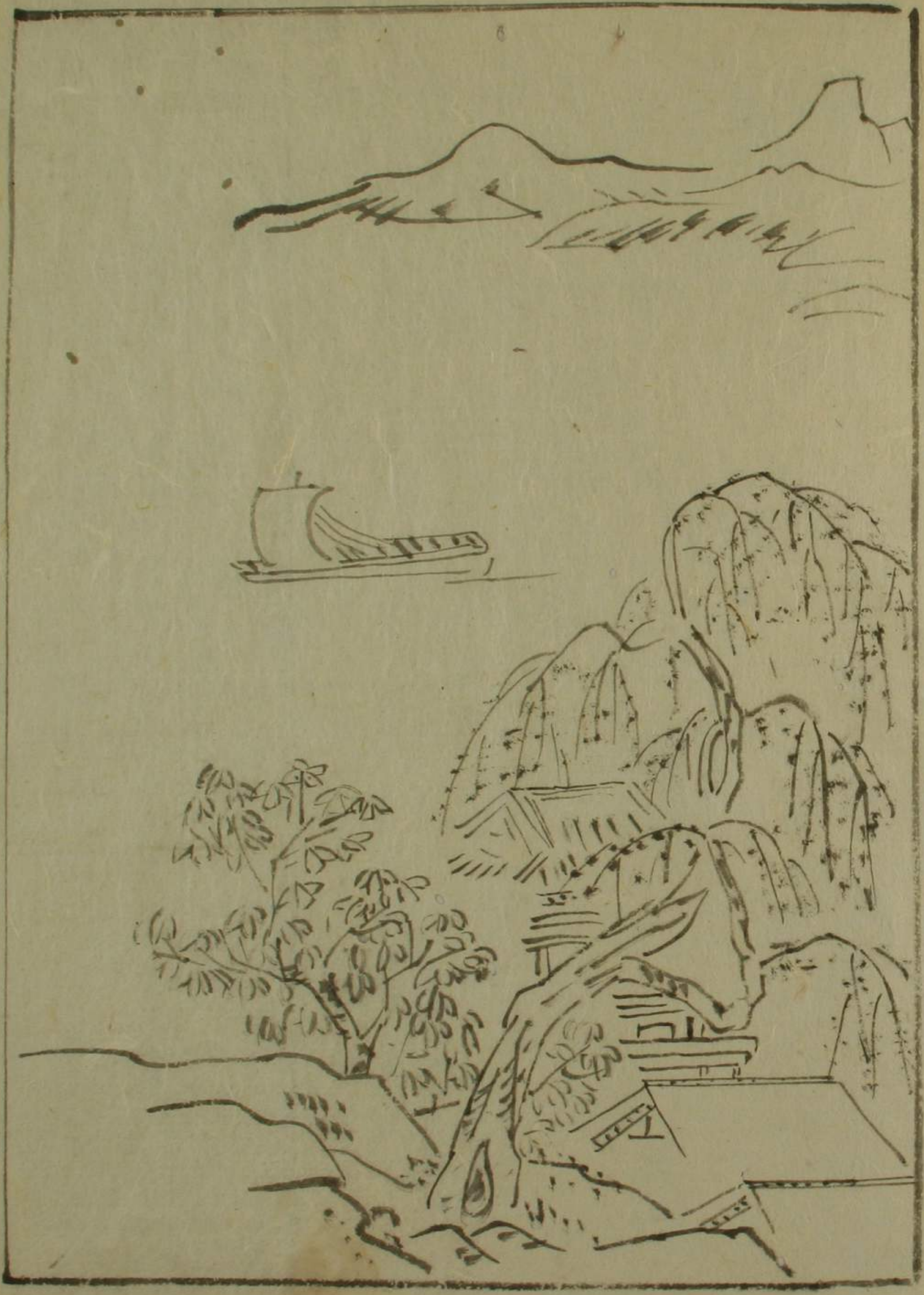
秋の月夜
 月影の光を
 照らす
 衣の影を
 映す
 静かな
 夜
 月影の
 光を
 照らす
 衣の影を
 映す
 静かな
 夜





九
 あらわゆる
 舟のさうり
 さみ多
 くらのおま
 くの
 くらり
 右
 秋さむい
 袖やのあつ
 風さ
 さのありや
 舟さうり
 九新ハ徳年
 月とさあつら
 衣のありや
 今す
 こそ





番

凡

むきこころく
あつらひね
うらみそめ

ゆきまの
ゆきまの
ゆきまの

右

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

たがみゆきまの

ゆきまの

たがみゆきまの

ゆきまの

ゆきまの



ゆきまの

ゆきまの
ゆきまの
ゆきまの

凡

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

右

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの

ゆきまの



ゆきまの

ゆきまの
ゆきまの
ゆきまの



藏
五

藏
五

藏
五



昔

九
 けいこうり
 みまやし
 いちあう
 ちかひ
 右
 月あはつ
 かうや
 そのな
 あまのも
 尾さ
 当世
 中
 その
 と
 け



くまひ

月
 つ
 その
 け

た
 人
 右
 人
 九
 け



あひ

あ
 う

古武徳藏徳法くく、美河氏師宣とく、
也海く徳師之九集書とくしと云、
松行者也

貞享元年七月吉日

繪師

美河師宣



